

「全自衛隊少林寺拳法連盟で活躍する女性拳士たち ④」

護身の技術を修行することを通じて自己の変化や達成感を味わい、自信をつけることによって、職場や地域社会をリードしていく人間を育てるという少林寺拳法。防衛省・自衛隊において少林寺拳法の普及・振興等を担う全自衛隊少林寺拳法連盟で活躍する女性拳士を連載しています。

第4回は、海上自衛隊徳島教育航空群少林寺拳法部 平岡 亜耶さん。

Q 少林寺拳法を始めたきっかけは？

大学に入学した際、友人の部活動見学について行ったのがきっかけです。最初は、ほかのサークルに入ろうと決めていましたが、練習風景を見たのと、友人の誘いもあり少林寺拳法部への入部を決めました。

Q 海自徳教空群少林寺拳法部の様子は？

週4回、2時間、隊内の体育館で練習しています。業務の都合上、全員が揃わないこともありますが、皆が団結して練習に取り組んでいます。ON/OFFも使い分けられていて、とても良い雰囲気だと感じています。

Q 全自衛隊少林寺拳法連盟の良さは？

全自衛隊大会は、年に一度、全国の拳士と交流が持て、技術の向上や交友関係を築けるととても良い場であると思います。先輩方の努力があり、現在まで続いてきた全自衛隊少林寺拳法連盟を私たちも団結・協力して盛り上げていきたいと思っています。

Q 今後の目標は？

技術の向上はもちろんですが、私の周りでも少林寺拳法を知らない人がいるので、自衛隊の中で少林寺拳法を続けていくことで、少林寺拳法の普及に貢献できれば幸いです。

全自衛隊少林寺拳法連盟について

全自衛隊少林寺拳法連盟（会長 大越康弘 元防衛研究所所長）は、防衛省・自衛隊において少林寺拳法の普及・振興を図るとともに、関係団体の融和、親睦等を図ることを目的として一般財団法人少林寺拳法連盟に認められた団体である。現在、全国の基地・駐屯地に18の少林寺拳法部があり、約170名の拳士が活動している。少林寺拳法部がない基地・駐屯地の隊員でも、全自衛隊少林寺拳法部に所属することによって、昇段や大会への出場などが可能という。

また、毎年一回、持ち回りで全国の基地・駐屯地において全自衛隊大会を開催しているのも特徴の一つ。(問合せ先：全自衛隊少林寺拳法連盟事務局長 生形良隆 08013643382)

